

(様式例第11)

荘病第 172 号
平成26年 9月29日

山形県知事 吉村 美栄子 殿

住 所 鶴岡市泉町4番20号
申請者 鶴岡市
氏 名 鶴岡市長 榎本 政規



鶴岡市立荘内病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成25年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒 鶴岡市泉町4番20号
氏名	鶴岡市長 榎本 政規

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鶴岡市立荘内病院

3 所在の場所

〒997-8515 鶴岡市泉町4番20号 電話 (0235) 26-5111
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	521床	521床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置、心電計、呼吸循環監視装置、人工呼吸装置、酸素濃度測定装置、超音波診断装置、心電図モニター装置、除細動器、ペースメーカー血液ガス分析装置、体温管理装置 病床数 23床 ICU
化学検査室	(主な設備) 汎用多項目自動分析機 2台
細菌検査室	(主な設備) 同定・薬剤感受性パネル自動測定装置 1台 自動血液培養装置 2台
病理検査室	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、クリオスタット
病理解剖室	(主な設備) 電動上下式解剖台(排気型)、高圧蒸気滅菌器
研究室	(主な設備) デスクトップパソコン、プリンター、高精細モニター
講義室	室数 1室 収容定員 160人 ビデオプロジェクター 1台
図書室	室数 1室 蔵所数 4,000冊程度(雑誌・DVD等含まず)
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 31.44㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	74.0%	算定 期間	平成25年 4月 1日~26年 3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	45.8%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		9,535人
	B：初診患者の数		12,880人
	C：逆紹介患者の数		5,900人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

平成26年度 紹介率 (全科)

平成26年4月15日

月	平均												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
初診患者数	入院 318	331	285	285	285	270	262	272	310	283	260	281	3,442
	外来 1,290	1,524	1,457	1,446	1,576	1,371	1,358	1,240	1,287	1,231	1,131	1,191	16,102
	①計 1,608	1,855	1,742	1,731	1,861	1,641	1,620	1,512	1,597	1,514	1,391	1,472	19,544
紹介患者数	入院 157	150	117	125	116	115	133	124	140	125	102	134	1,538
	外来 503	571	530	620	510	485	577	517	538	472	510	499	6,332
	②計 660	721	647	745	626	600	710	641	678	597	612	633	7,870
紹介/初診 (%)	②/① 41.04	38.87	37.14	43.04	33.64	36.56	43.83	42.39	42.45	39.43	44.00	43.00	40.27
救急患者総数	③計 1,385	1,654	1,462	1,430	1,664	1,506	1,313	1,274	1,368	1,419	1,244	1,349	17,068
内、救急車搬送患者数	④計 347	384	364	379	388	334	322	321	377	398	354	376	4,344
内、緊急入院患者数(初診)	⑤計 150	156	139	132	124	133	132	141	148	141	125	144	1,665
時間外初診患者数(緊急入院を除く)	⑥計 538	700	646	561	662	631	516	432	504	545	438	491	6,664
5歳未満の時間外初診患者数	⑦計 181	170	147	124	157	132	116	107	111	100	94	91	1,510
診療情報提供料 I+II	⑧計 483	463	520	606	522	447	545	476	464	424	381	569	5,900
紹介	69.59	65.58	63.39	69.94	59.51	61.90	68.62	68.47	71.00	70.37	74.48	73.06	67.73

※一般病院の紹介率の算定方式※

紹介率	(②+④)×100 / (①+②+④) (%)
-----	-------------------------

【26年3月の紹介率の計算】

紹介率 = $\frac{\text{分子} \text{ ②紹介患者数+④救急車搬送患者数}}{\text{分母} \text{ ①初診患者数-⑦5歳未満の時間外初診患者数}} \times 100 = \frac{633 + 376}{1472 - 91} \times 100 = 73.06 \%$

※地域支援病院の紹介率の算定方式※

紹介率	(②+⑤) / (①+⑤) (%)
-----	-------------------

【26年3月の紹介率の計算】

紹介率 = $\frac{\text{分子} \text{ ②紹介患者数+⑤緊急患者のうち緊急入院患者数(初診のみ)}}{\text{分母} \text{ ①初診患者数-⑥時間外初診患者数(緊急入院を除く)}} \times 100 = \frac{633 + 144}{1472 - 491} \times 100 = 79.20 \%$

※地域支援病院の逆紹介率の算定方式※

逆紹介率	逆紹介患者数 / (①-⑥) (%)
------	--------------------

【26年3月の紹介率の計算】

逆紹介率 = $\frac{\text{分子} \text{ ⑧診療情報提供料 I+II}}{\text{分母} \text{ ①初診患者数-⑥時間外初診患者数(緊急入院を除く)}} \times 100 = \frac{569}{1472 - 491} \times 100 = 58.00 \%$

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況 (別紙のとおり)

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	23床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要(主な設備)	24時間使用の可否
救急センター	450.35 m ²	全自動血液ガス分析置、心電計除細動器、酸素流量計、人工呼吸器、救急蘇生器、超音波診断装置、自動血圧計、患者監視装置	可
放射線画像センター	1609.27 m ²	マルチスライスCT、MRI、血管造影撮影装置	可
内視鏡センター	212.12 m ²	消化管上部・下部電子内視鏡システム、気管支電子内視鏡システム	可
中央検査室	676.42 m ²	冷却多本架遠心分離機、全自動血球分類装置、生化学全自動汎用分析装置、全自動凝固機能測定装置、化学発光酸素免疫測定装置、免疫血液学検査自動測定器	可
細菌検査室	46.6m ²	同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、自動血液培養装置、孵卵器、オートクレーブ、安全キャビネット	可
集中治療センター	434.04 m ²	救急蘇生装置、心電計、呼吸循環監視装置、人工呼吸装置酸素濃度測定装置、超音波診断装置、心電図モニター装置除細動器、ペースメーカー血液ガス分析装置、体温管理装置、自家発電装置・無停電装置(機械室に設置)	可

4 備考

救急告知病院(平成18年7月 告示)

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,344人 (2,250人)
上記以外の救急患者の数	12,724人 (2,946人)
合計	17,068人 (5,196人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

平成25年度共同利用医療機関延べ数	306件
・施設共同利用医療機関延べ数	14件
・機器共同利用医療機関延べ数	292件(CT 71件、MRI 221件)
上記の医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関延べ数	306件
・施設共同利用医療機関延べ数	14件
・機器共同利用医療機関延べ数	292件
共同利用に係る病床の病床利用率	-%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

<ul style="list-style-type: none"> ・建物の全部 ・磁気共鳴断層撮影装置(MRI) ・コンピューター断層撮影装置(CT) ・ラジオアイソトープ検査装置(RI) ・その他病院長が認めた医療機器

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有・無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: 高橋 厚子
職 種: 事務

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

登録医療機関の名簿(平成26年8月1日現在)

No.	医療機関	医師名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係	共同利用類型 施設 1 機器 2
1	上野整形外科	上野 欣一	鶴岡市日吉町10-43	整形外科	無	1
2	湯田川温泉リハビリテーション病院	諸橋 政楨	鶴岡市湯田川字中田35-10	整形外科	無	1・2
3	木根淵医院	木根淵 清志	鶴岡市本町一丁目6-34	皮膚科、泌尿器科	無	1
4	藤吉内科医院	藤吉 令	鶴岡市山王町14-15	内科	無	1・2
5	五十嵐ハートクリニック	五十嵐 裕	鶴岡市美咲町24-8	内科、循環器科	無	1・2
6	すこやかレディースクリニック	斎藤 憲康	鶴岡市東原町19-27	産婦人科、内科、神経科	無	1
7	スズキ内科クリニック	鈴木 豊	鶴岡市若葉町25-15	内科	無	1・2
8	犬塚医院	犬塚 博	鶴岡市本町二丁目11-15	内科、循環器科	無	1・2
9	佐藤診療所	佐藤 元昭	鶴岡市鼠ヶ関乙49	外科	無	1
10	佐藤診療所	佐藤 純子	鶴岡市鼠ヶ関乙49	内科	無	1
11	三井病院	三井 盾夫	鶴岡市美咲町28-1	産婦人科	無	1・2
12	三井病院	三井 卓弥	鶴岡市美咲町28-1	産婦人科	無	1・2
13	今立小児科医院	今立 明宏	鶴岡市鳥居町2-30	小児科	無	1・2
14	中目内科胃腸科医院	中目 千之	鶴岡市昭和町10-5	内科	無	1
15	佐藤診療所	佐藤 洋司	鶴岡市湯温泉海甲127-1	内科	無	1・2
16	さくまクリニック	佐久間 豊明	鶴岡市湯田川字中田8-3	内科	無	1・2
17	宮原病院	長島 義弘	鶴岡市三和町1-53	内科	無	1
18	宮原病院	長島 早苗	鶴岡市三和町1-53	内科	無	1
19	宮原病院	宮原 信弘	鶴岡市三和町1-53	外科	無	1
20	宮原病院	佐藤 孝司	鶴岡市三和町1-53	内科	無	1
21	佐久間医院	佐久間 正幸	鶴岡市西荒屋字川原田98	内科	無	1・2
22	斎藤胃腸クリニック	齋藤 壽一	鶴岡市本町二丁目2-35	外科	無	1・2
23	斎藤胃腸クリニック	三浦 二三夫	鶴岡市本町二丁目2-35	外科	無	1・2
24	真島医院	真島 吉也	鶴岡市山王町3-29	外科、内科、消化器科	無	1・2
25	鶴岡協立病院	佐藤 満雄	鶴岡市文園町9-34	内科	無	1・2
26	渡部泌尿器科内科医院	渡部 隆二	鶴岡市本町二丁目16-4	泌尿器科	無	1・2
27	土田内科医院	土田 兼史	鶴岡市板井川字片茎75	内科	無	1・2
28	三浦クリニック	三浦 道治	鶴岡市美咲町27-3	泌尿器科	無	1・2
29	鶴岡協立病院	真家 興隆	鶴岡市文園町9-34	皮膚科	無	2
30	中村内科胃腸科医院	中村 秀幸	鶴岡市新海町14-20	内科、消化器科	無	1・2
31	三原皮膚科	三原 一郎	鶴岡市錦町17-3	皮膚科	無	1
32	美咲クリニック	今野 俊幸	鶴岡市美咲町25-5	整形外科	無	1・2

No.	医療機関	医師名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係	共同利用類型 施設 1 機器 2
33	菊地内科クリニック	菊地 直人	鶴岡市東原町25—51	内科	無	1・2
34	鶴岡協立病院	猪股 昭夫	鶴岡市文園町9—34	心臓血管外科	無	1・2
35	いとうクリニック	伊藤 享子	鶴岡市日出一丁目17—8	耳鼻咽喉科	無	1・2
36	こばやしクリニック	小林 洋	鶴岡市藤浪四丁目111—2	内科、外科、皮膚科、アレルギー科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科	無	1
37	佐藤医院	佐藤 邦彦	鶴岡市羽黒町野荒町字街道上	内科	無	1・2
38	わだ内科医院	和田 了	鶴岡市下川字七窪2-1198	内科、循環器科、呼吸器科、アレルギー科、小児科	無	1・2
39	わだ内科医院	和田 満	鶴岡市下川字七窪2-1198	内科、循環器科、呼吸器科、アレルギー科、小児科	無	1・2
40	鶴岡協立病院リハビリテーション病院	茂木 紹良	鶴岡市上山添字神明前38	リハビリテーション科	無	1・2
41	鶴岡協立病院リハビリテーション病院	福村 直毅	鶴岡市上山添字神明前38	リハビリテーション科	無	1・2
42	須田内科クリニック	須田 克幸	鶴岡市宝田一丁目9-86	内科	無	1・2
43	たんぼぼクリニック	齋藤 高志	鶴岡市日枝字鳥居上43-1	産婦人科	無	1・2
44	黒羽根整形外科	黒羽根 洋司	鶴岡市城南町6-67	整形外科	無	1
45	石橋内科胃腸科医院	石橋 学	鶴岡市藤島字笹花48-15	内科、胃腸科	無	1・2
46	滝沢眼科	滝沢 元	鶴岡市本町三丁目7-65	眼科	無	1・2
47	宝田整形外科クリニック	阿部 修一	鶴岡市宝田一丁目9-80	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	無	1・2
48	木根淵医院	木根淵 智子	鶴岡市本町一丁目6—34	皮膚科	無	1
49	おぎわら医院	荻原 学	鶴岡市切添町21-2	整形外科	無	1・2
50	三井病院	三井 直弥	鶴岡市美咲町28—1	小児科	無	1・2
51	湯田川温泉リハビリテーション病院	加藤 知邦	鶴岡市湯田川字中田35-10	内科	有	1・2
52	高橋クリニック	高橋 由至	鶴岡市ほなみ町7-11	内科、胃腸内科、内視鏡内科、外科	無	1・2
53	おのこども診療所	小野 俊孝	鶴岡市桜新町12-1	小児科	無	1
54	はらだこども医院	原田 和佳	鶴岡市西新斎町3-7	小児科	無	1・2
55	満天クリニック	阿部 寛政	鶴岡市のぞみ町5-17	心臓血管内科、内科、血管外科、胸部外科	無	1・2
56	よこやま皮膚科医院	横山 靖	鶴岡市美咲町25-12	皮膚科	無	1
57	湯田川温泉リハビリテーション病院	梅津 尚男	鶴岡市湯田川字中田35-10	内科	有	1・2
58	諸橋医院 いずみまちクリニック	諸橋 政人	鶴岡市泉町8-66	整形外科	無	1・2

No.	医療機関	医師名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係	共同利用類型 施設 1 機器 2
59	鶴岡協立病院	堀内 隆三	鶴岡市文園町9-34	内科	無	1・2
60	斎藤内科医院	齋藤 純夫	鶴岡市本町二丁目6-30	内科、消化器科	無	1
61	さとう整形外科クリニック	佐藤 慎二	鶴岡市城北町26-10	整形外科、 リハビリテーション科	無	2
62	みどりまちクリニック	今野 拓	鶴岡市みどり町29-22	内科、循環器内科	無	1・2
63	佐久間医院	佐久間 文明	岡市湯温海字湯之尻122-	内科	無	1・2
64	成澤医院	成澤 辰男	庄内町清川字腹巻野45-1	内科	無	2
65	湯田川温泉リハビリテーション病	武田 憲夫	鶴岡市湯田川字中田35-10	内科	無	1・2

注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

鶴岡市立荘内病院地域医療従事者共同利用制度運営要領

第1 総則

1 目的

この要領は、鶴岡市立荘内病院(以下「荘内病院」という。)が地域等の医療機関(鶴岡市、三川町及び荘内病院と医療連携を行っている周辺地域の医療機関をいう。)の医療従事者に診療・研修の機会を提供するために施設及び機器を開放し、それらの共同利用(以下「共同利用制度」という。)をとおり、地域等の医療機関との更なる連携のもとに住民に良質な医療の提供と上記の医療従事者相互の医療の質の向上を図ることを目的とする。

2 共同利用制度

共同利用制度は次の3つの類型の共同利用制度により運営する。

- (1) 紹介患者診療型共同利用(施設共同利用)
- (2) 医療機器利用型共同利用(機器共同利用)
- (3) 研修会参加型共同利用(研修会共同利用)

ただし、施設及び機器を共同利用する医師は事前に登録するものとする。

(以下「登録医」という。)

3 登録医の遵守事項

紹介患者診療型共同利用、医療機器利用型共同利用を利用する登録医は、病院内においては次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、病院内担当医等とあらかじめ事前調整をし、地域医療連携室(利用方法については別に定める。)で受付を得て利用する。
- (2) 白衣を着用する。
- (3) 第2の5により発行された「登録医証」を必ず着用する。
- (4) 病院内の諸規則を遵守する。

4 報酬

共同利用制度を利用する登録医に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しない。

5 事故

院内マニュアルを遵守し事故防止に努めることとする。

- (1) 共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。
- (2) 事故発生時は、マニュアルに従い緊急時の初動体制を実施し、事故報告を行うこととする。

6 情報の持ち出し禁止

いかなる情報に関わらず、許可なく院外に持ち出すことを禁ずる。

第2 医療機関等の登録

1 事前登録

共同利用制度は、研修会等への参加を除いて施設及び機器の利用に際しては事前に登録をしなければならない。

2 登録名

共同利用制度の利用登録名は、紹介患者診療型共同利用及び医療機器利用型共同利用に際しては医療機関名をもって登録するものとする。

3 登録の対象医療機関

共同利用制度における各類型ごとの登録できる医療機関の対象は、荘内病院と医療連携を行っている地域等の医療機関とする。

4 登録の申請

(1) 共同利用制度の利用のための登録を行おうとする医療機関は、「共同利用制度登録申請書」(別紙様式1)により病院長に登録申請するものとする。

(2) 病院長が申請内容を審査し、登録を承認した場合は「共同利用制度登録機関名簿」(別紙様式2)に登録医療機関名・登録医師名などを登録して当該医療機関へ通知する。

5 登録医証の発行及び共同利用制度登録確認書の送付

「共同利用制度登録機関名簿」に登録医として登録された医師には「登録医証」を発行するとともに、「共同利用制度登録確認書」(別紙様式3)を送付する。

6 登録有効期間

登録の有効期限は登録日の属する年度の3月31日までとし、特別の事情がない限り次年度以降において毎年更新することができる。

7 登録内容の変更

(1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された登録医を追加するなどその登録内容を変更する場合には、「共同利用制度登録変更申請書」によりその変更を行うものとする。

(2) 変更申請がなされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準じる。

8 登録の辞退

「共同利用制度登録機関名簿」の登録を辞退する医療機関は、病院長に対し文書により辞退の申し出をしなければならない。

9 登録の抹消

以下の場合、登録を抹消する。

(1) 保険医でなくなった場合

(2) 登録医が死亡した場合

(3) 共同利用の継続がしがたい事由が生じた場合

第3 紹介患者診療型共同利用（施設共同利用）

1 紹介患者診療型共同利用の内容

地域等の医療機関から紹介され入院した患者の診療について、地域でのかかりつけ医としての立場を尊重しながら、登録医と病院内担当医が共同して当該患者の検査、処置又は患者指導を行い、退院後のかかりつけ医への円滑な連携に資するとともに、当該患者に対してより良い医療の提供を目指すための診療型の共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用制度を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医とする。

3 利用できる時間

当該共同利用をできる時間は、次のとおりとする。

(1) 時間内は、荘内病院地域医療連携室を経由し、病院内担当医と事前調整後に登録医へ報告するものとする。

(2) 時間外に利用する場合は、時間内に荘内病院地域医療連携室を経由して、病院内担当医と事前調整後に登録医へ報告するものとする。

4 共同利用のための専用病床

当該共同利用のための専用病床として、4階から8階までの各東、西入院棟それぞれに1床の計10床を確保する。

5 共同利用のための事前調整

紹介入院となった患者に対して、当該共同利用を行おうとする登録医は、あらかじめ病院内担当医と事前調整しなければならない。

6 共同利用後の報告

当該共同利用を行った登録医は、当日の共同利用終了後に「共同診療実施記録」（別紙様式4）に必要事項を記入するものとする。

第4 医療機器利用型共同利用（機器共同利用）

1 医療機器利用型共同利用の内容

地域等医療機関が検査目的で紹介する患者について、地域でのかかりつけ医としての立場を尊重しながら、依頼医（登録医であり検査を希望する医師をいう。）と病院内担当医が連携し病院内の医療器械を活用し当該検査を行うもので、検査後のかかりつけ医との円滑な連携に資するとともに、当該患者に対してより良い医療の提供を目指すための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医とする。

- 3 利用して頂ける時間
当該共同利用を利用できる時間は、病院開院日の時間内とする。

- 4 対象医療機器
当該共同利用として利用できる医療機器は、次のとおりとする。
 - (1) 磁気共鳴断層撮影装置(MRI)
 - (2) コンピュータ断層撮影装置(CT)
 - (3) ラジオアイソトープ検査装置(RI)
 - (4) その他病院長が認めた医療機器

- 5 利用方法
利用方法は次の二通りとする。
 - (1) 当院の担当医に検査を委ねるとき
 - (2) 依頼医が共同で検査を行うとき
 - ① 依頼医は事前に希望する検査予約を行うこととする。
 - ② 共同で行う検査については、荘内病院担当医を責任者とする。
 - ③ 検査を行う際に使用する造影剤や医療機器等の使用料若しくは検査以外に処置等を行ったときの経費等は、荘内病院の負担とする。

- 6 予約の調整
当該共同利用を行おうとする依頼医は、共同利用を希望する医療機器の検査予約を地域医療連携室を通じて行うものとする。

- 7 共同利用後の報告
 - (1) 当院の放射線科医に検査と読影診断を委ねるとき
荘内病院では、検査依頼票と放射線科医の読影レポートを保存する。
 - (2) 依頼医が共同で検査を行うとき
当該共同利用を行った依頼医は、当日の共同利用終了後に「共同診療実施記録」に必要事項を記入するものとする。

第5 研修参加型共同利用（研修会共同利用）

1 研修会参加型共同利用の内容

当院が実施する研修会・研究会を広く地域等の医療従事者に開放するとともに、研修・研究の機会を提供し、地域等の医療従事者相互の医療の質の向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

研修会等への参加については、事前に登録は行わないものとする。

3 対象研修会等

当院で地域等の医療従事者に公開することを目的とした研修会・研究会とする。また、研修会等の広報は、地域等の医療機関に対して随時行うものとする。

4 利用時の手続き

当該共同利用制度による研修会等を利用する地域等の医療従事者は、開催された会の会場受付において参加者名簿に必要事項を記入するものとする。

第6 協 議

共同利用制度を実施するにあたって、必要となる経費等については、関係する団体等と荘内病院が協議してこれを決めるものとする。

附則

- 1 この要領は、平成17年3月22日から施行する。

附則

- 2 この要領は、平成21年3月1日から施行する。

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙のとおり

2 研修の実績 (平成25年度実績 別紙のとおり)

(1) 地域の医療従事者への実施回数	<ul style="list-style-type: none"> ・パス関係研修会 10回 院内 243名 院外360名 ・緩和ケア関係研修会 41回 院内311名 院外1,629名 ・救急救命士教育研修 4課程 院外27名 ・各科症例検討会 51回 院内529名 院外378名
(2) (1) の合計研修者数	3,477人 (うち院外 2,394名)

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無
- イ 研修委員会設置の有無 有 無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験 数	特 記 事 項
佐藤 和彦	医師	脳神経外科	診療部長	■■■■	教育責任者 研修研究委員長
板垣 茂文	医師	消化器科	診療部長	■■■■	図書運営委員会
蛸井 好子	看護師	6階西入院棟	統括看護主幹	■■■■	看護部門教育研修 研究委員会
高橋 深雪	看護師	NICU GCU 入院棟	看護主査	■■■■	看護部門教育研修 研究委員会
佐藤 導	薬剤師	薬局	薬局長	■■■■	コ・メディカル部門教育 研修研究委員会
和嶋 淳	検査技師	中央検査科	技師長	■■■■	コ・メディカル部門教育 研修研究委員会

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

平成25年度 地域医療連携のための研究会・講演会 開催実績一覧

No.	実施日	研修内容	対象者	院内	院外	合計
1	25.05.14	第2回 庄内南部地域連携バス推進協議会 全体会(地域連携バス稼働状況報告・脳卒中バス集計表報告)	当院職員及び地域医療関係者	24	39	63
2	25.06.11	第2回 庄内南部地域連携バス推進協議会 全体会(症例検討)	当院職員及び地域医療関係者	32	41	73
3	25.07.09	学術講演会「バス医療原則の再確認と連携バスへの応用」 黒部市民病院 関節スポーツ外科 部長 今田光一先生	当院職員及び地域医療関係者	35	46	81
4	25.09.10	第3回 庄内南部地域連携バス推進協議会 全体会(地域連携バス稼働状況報告・急性心筋梗塞バス説明会)	当院職員及び地域医療関係者	35	50	85
5	25.10.08	第4回 庄内南部地域連携バス推進協議会 全体会(学術講演会)	当院職員及び地域医療関係者	24	52	76
6	25.10.29	5大がん地域連携バス研修会	当院職員及び地域医療関係者	19	17	36
7	25.11.12	第5回 庄内南部地域連携バス推進協議会 全体会(地域連携バス稼働状況報告・日本クリニカルバス学会報告Part.1)	当院職員及び地域医療関係者	22	25	47
8	25.12.10	第6回 庄内南部地域連携バス推進協議会 全体会(日本クリニカルバス学会報告Part.2)	当院職員及び地域医療関係者	17	29	46
9	26.02.18	第7回 庄内南部地域連携バス推進協議会 (地域連携バス稼働状況報告・症例検討)	当院職員及び地域医療関係者	21	41	62
10	26.03.11	第8回 庄内南部地域連携バス推進協議会 全体会 (第5回 脳卒中個別バス委員会、第5回 大腿骨個別バス委員会)	当院職員及び地域医療関係者	14	20	34
		バス関係研修会 合計		243	360	603

No.	実施日	研修内容	対象者	院内	院外	合計
1	25.04.10	第1回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	4	25	29
2	25.04.16	第1回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー「庄内プロジェクト最終報告」	医師、その他の医療従事者	15	6	21
3	25.05.08	第2回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	8	32	40
4	25.05.21	第2回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー 「訪問看護の現状」	医師、その他の医療従事者	13	5	18
5	25.06.03	第1回緩和ケアを学ぼう会「あなたほどどんな最後を迎えたいですか」	医療、介護、福祉従事者	2	84	86
6	25.06.12	第3回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	5	27	32
7	25.06.18	第3回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー「がん診療における漢方の役割」	医師、その他の医療従事者	4	13	17
8	25.06.19	第1回 緩和ケア・スキルアップ研修会 講演「がん患者の精神的ケア」	当院職員及び地域医療関係者	11	76	87
9	25.06.21	第1回 南庄内在宅医療を考える会 ～訪問看護師さんと仲良くなろう！～	医師、その他の医療従事者	0	28	28

No.	実施日	研修内容	対象者	院内	院外	合計
10	25.07.10	第4回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	4	39	43
11	25.07.12	第1回 つるやくネットワーク学習会	薬剤師等	0	31	31
12	25.07.16	第4回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー「オピオイドラインアップ～使い方のコツ～」	医師、その他の医療従事者	10	2	12
13	25.07.17	第1回 栄養と食の連携を考える会「手間をかけないソフト食～在宅での作り方(肉料理)～」	栄養士、介護	2	32	34
14	25.07.31	看研研修会「ロールプレイを通して互いの業務と役割を理解し、よりスムーズな情報共有をめざす」	看護師	20	24	44
15	25.08.08	第1回 医療と介護の連携研修会「地域の中で連携を語る」	医療、介護、福祉従事者	25	151	176
16	25.09.02	第2回 緩和ケアを学ぶ会：経験事例発表会	医療、介護、福祉従事者	6	88	94
17	25.09.11	第5回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	6	28	34
18	25.09.17	第5回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー「CTガイド下腫瘍ドレナージについて」	医師、その他の医療従事者	16	2	18
19	25.09.21	医科歯科連携を考える会	医師、その他の医療従事者	0	75	75
20	25.10.03	緩和ケア特別講演会「在宅緩和ケアにおける多職種連携について」	医療、介護、福祉従事者	49	45	94
21	25.10.09	第6回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	3	43	46
22	25.10.15	第6回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー	医師、その他の医療従事者	1	14	15
23	25.10.16	第2回 緩和ケア・スキルアップ研修会 講演「食を食べる喜びを支える緩和ケアの仕組み」	当院職員及び地域医療関係者	12	51	63
24	25.11.13	第7回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	5	24	29
25	25.11.19	第7回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー	医師、その他の医療従事者	14	2	16
26	25.11.20	第3回 緩和ケアスキルアップ研修会 講演「薬剤師力をいかせ！がんに伴う悪臭緩和のストラテジー」	医療、介護、福祉従事者	15	28	43
27	25.11.21	第2回 医療と介護の連携研修会「医療依存度の高い利用者の支援について」	医療、介護、福祉従事者	24	180	204
28	25.11.26	第2回 南庄内在宅医療を考える会「ケアマネと仲良くろう」	医師、その他の医療従事者	0	46	46
29	25.12.07	緩和ケア講演会「アドバンスケア・プランニング より良い意志決定支援について考えてみませんか」	医療、介護、福祉従事者	4	47	51
30	25.12.11	第9回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	8	26	34
31	26.01.08	第9回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	4	19	23
32	26.01.21	第9回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー	医師、その他の医療従事者	2	14	16
33	26.01.22	第2回 南庄内 栄養と食の連携を考える会「手間をかけないソフト食～在宅での作り方～」	栄養士、介護	4	32	36
34	26.01.30	第3回 緩和ケアを学ぶ会 講演「苦しむ人に向き合うためのコミュニケーション」	医療、介護、福祉従事者	0	76	76
35	26.02.12	第10回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	3	18	21
36	26.02.18	第9回 キャンサーボード鶴岡 症例検討、ミニレクチャー	医師、その他の医療従事者	2	12	14
37	26.02.19	第4回 緩和ケア・スキルアップ研修会 講演「がん患者の口腔ケアを始める前に～くちを親で診て看る～」	当院職員及び地域医療関係者	8	43	51
38	26.02.26	第3回 南庄内在宅医療を考える会「訪問リハビリと仲良くろう」	医師、その他の医療従事者	0	35	35
39	26.03.12	第11回 地域緩和ケア症例検討会 訪問看護ステーション及び介護・福祉施設の症例検討会	医療、介護、福祉従事者	2	30	32
40	26.03.16	第3回 栄養と食の連携を考える会「安心して食べられる食事」	栄養士、介護	0	52	52
41	26.03.17	第3回 つるやくネットワーク学習会「薬剤師にできる多職種連携」	薬剤師等	0	24	24
緩和ケア関係研修会 合計				311	1,629	1,940

No.	実施日	対象者	院内	院外	合計
1	薬剤投与実習及び救急救命士再教育(48時間) 5/21~5/25 7/9~7/13	救急救命士		2	2
2	救急救命士就業前教育予定研修 4/16~5/17 5/21~6/15	救急救命士		2	2
3	挿管実習及び救急救命士再教育(30症例) 10/15~1/30 1/28~7/22(平成24年度に開始したが修了は25年度にずれ込んだ)	救急救命士		2	2
4	救急救命士再教育研修(40時間) 1回目~21回目	救急救命士		21	21
救急教育研修会 合計					
				27	27

No.	科	開催日程	対象者	院内	院外	合計
1	内科	年1回 悪性リンパ腫の診断・治療・トピックス	当院医師及び地域の医師等	1	4	5
2	外科	年12回 毎月第3火曜日 10名(院内8名 院外2名)	当院医師及び地域の医師等	96	24	120
3	小児科	年4回 4月、7月、10月、1月 院内10人 院外5~6人。研修会 年2回 新生児蘇生講習会Bコース 院内・外 各10人	当院医師及び地域の医師等	60	40	100
4	整形外科	年12回 毎月第2月曜日 院内8名 院外5名	当院医師及び地域の医師等	96	60	156
5	脳神経外科	年12回 毎月第2火曜日 研修会 脳神経疾患全般 院内・外 各20人	当院医師及び地域の医師等	240	240	480
6	歯科口腔外科	年10回 不定期	当院医師及び地域の医師等	36	10	46
症例検討会 合計						
				529	378	907

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要 (主な設備)
講義室	210.00 m ²	机 (30台)、イス (200脚)、ビデオデッキ、カセットデッキ、CDプレイヤー、DVDプレイヤー、ビデオプロジェクター、電動スクリーン、電動カーテン、マイク、レーザーポインター、演台、移動式ステージ、ホワイトボード、パソコン、ピアノ
研究室 301・3012	64.14 m ²	机 (10台)、イス (30脚)、パソコン3台、プリンター2台、高精細モニター、
201会議室	60.70 m ²	机 (12台)、イス (36脚)、移動用スクリーン

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 三科 武
管理担当者氏名	各担当部署

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		カルテ庫	年度ごと、患者ごとに保管管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	救急センター	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務課	
	閲覧実績	地域医療連携室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	副院長 兼 地域医療連携室 室長 伊藤 末志
閲覧担当者氏名	地域医療連携室 [REDACTED]
閲覧の求めに応じる場所	地域医療連携室
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>鶴岡市立荘内病院に患者を紹介しようとする医師、歯科医師及び地方公共団体から諸記録の閲覧を求められた時は、「地域医療支援病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧についての取り扱い規程」に基づき対応する。なお対応は地域医療連携室で行う。</p> <p>【手続き】</p> <p>① 「閲覧申出書」により閲覧を申し出る。</p> <p>② 閲覧の取り扱いは月曜日から金曜日（国民の祝日及び休日並びに年末年始休日を除く）までの午前9時から午後4時までとする。</p> <p>③ 閲覧場所は、地域医療連携室で行う。</p>	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回
委員会における議論の概要	
1 平成25年度第1回 鶴岡市立荘内病院 地域医療連携推進協議会	
開催日	平成25年6月18日(火) 19:15~20:05
場所	鶴岡市立荘内病院 3階 講堂
出席人数	委員 16名 事務局 6名
報告と協議事項	(1) 24年度実績 (FAX紹介状況など) (2) 呼吸器の2次検診の再開について (3) 25年度新規事業について
2 平成25年度第2回 鶴岡市立荘内病院 地域医療連携推進協議会	
開催日	平成24年9月17日(火) 19:15~20:00
場所	鶴岡市立荘内病院 3階 講堂
出席人数	委員 15名 事務局 6名
報告と協議事項	(1) 急性心筋梗塞地域連携パスの稼働について (2) NICU・GCU拡張整備工事に伴う受け入れ制限 (3) 当院がん治療に伴う口腔合併症の状況について (4) がん治療における医科歯科連携について (5) 当院でのちょうかいネットの登録の仕組みと現況
3 平成25年度第3回 鶴岡市立荘内病院 地域医療連携推進協議会 (地域医療連携推進協議会・医師会・荘内病院 合同懇談会)	
開催日	平成25年12月17日(火) 19:00~21:30
場所	東京第一ホテル鶴岡
参加人数	地域医療推進協議会15名・医師会14名・荘内病院29名
発表と講演	「がん地域連携パスの状況報告」 地域医療連携室より報告 「当科における口腔癌治療の概要と実際について」 荘内病院歯科口腔外科医長 武石越郎 医師 「再発患者データ解析からみた脳卒中地域連携電子パス導入の効果」 荘内病院神経内科主任医長 丸谷宏 医師

平成25年度第4回 鶴岡市立荘内病院 地域医療連携推進協議会

開催日	平成26年3月18日（火） 19：15～20：00
場 所	鶴岡市立荘内病院 3階 講堂
出席人数	委員 16名 事務局 6名
報告と協議事項	(1) 「つるおか健康塾」について (2) 平成26年度 開催日程と内容について (3) 医科歯科連携について

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	MSW [REDACTED] MSW [REDACTED]
患者相談件数	836件
患者相談の概要	
別紙のとおり	
【講じた対策】 退院前カンファレンスに積極的に出席し、患者情報の収集と提供に努めた。	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

荘内病院における医療ソーシャルワーカー相談件数

平成22/23/24/25年度

平成22年4月1日 ~ 平成26年3月31日

相談分類 (大分類)	相談分類(小分類)	面接・電話等							
		H22 入院	H23 入院	H24 入院	H25 入院	H22 外来	H23 外来	H24 外来	H25 外来
社会保険 経済問題	医療費、生活費について	53	44	27	26	12	15	6	15
	社会保障について	33	26	23	8	6	10	12	10
	年金制度	3	10	10	5	11	20	4	16
社会福祉 関係法	福祉制度全般	81	82	30	28	5	16	8	12
	介護保険制度	15	33	16	38	3	12	2	6
	身体障害者手帳制度	12	23	40	104	1	18	9	13
退 院 支 援	退院後のことについて	215	141	174	217	2	1	2	1
	在宅支援について	37	24	33	75	8	18	4	15
	転院について	28	59	82	79	7	12	2	2
療養上 の問題	受療援助	24	29	18	32	35	29	25	40
	療養中の生活	30	17	8	16	11	15	9	5
その他 の問題	庄内プロジェクトについて	1	3	0	0	1	1	0	0
	心理的な問題	3	2	9	5	2	2	2	2
	書類について	2	3	11	9	0	9	7	10
	労働について	1	0	1	2	0	3	2	4
	家族関係について	5	12	24	31	0	3	7	10
合 計		543	508	506	675	104	184	101	161

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 【機関名】公益財団法人日本医療機能評価機構 【時期】2007年1月22日、2012年4月6日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・情報発信の方法、内容等の概要 ホームページでの紹介 紹介DVDの作成	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有
・退院調整部門の概要 退院後の様々な生活ニーズ、課題を持つ患者家族に対して、安心して療養生活を送れるようにソーシャルワーカーと看護師が協力して調整を行っている。 (調整内容) 医療ニーズが高く、医療処置の継続が必要な場合 在宅療養に向けて往診や訪問看護等の在宅サービスとの連携 家族関係、介護者の問題、生活上の問題など	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 大腿骨近位部骨折・脳卒中・糖尿病・5大がん・心筋梗塞 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 庄内南部地域連携パス推進協議会を設立し、地元医師会と連携しながら運営している。 月1回の定例会の他、疾患ごとの部会も開催している。	